

京都府下鴨警察署長賞

『三つのあ』で社会を明るく

京都市立鞍馬小学校六年 松本 龍ノ佑

ぼくが考える明るい社会とは、みんなが楽しく暮らすことができる社会です。社会全体を楽しくするために、ぼくたちの学校で大切にしている『三つのあ』について紹介します。

一つ目の『あ』は、『あいさつ』です。この『あいさつ』を大切にすることで、誰とでも仲良くすることができます。また、世界ともつながることが出来ます。大きな声で相手の目をみて笑顔で、『あいさつ』をするのがいいです。そのような『あいさつ』をすると、相手も同じように返してくれますと思います。すると、お互いの気持ちが明るく楽しくなります。ぼく自身あいさつを大切にするようになって、自分からあいさつをすることが出来るようになりました。また、ぼくが自分からあいさつをしている姿を見て、友達も自分からあいさつをするようになりました。その姿を見て、あいさつを大切にしてよかったですと思いました。

二つ目の『あ』は、『ありがとう』です。この『ありがとう』を大切にすることで、自分も相手も気持ちが悪くありません。なぜなら、自分が当たり前だと思っていることにに対して相手から『ありがとう』と言ってもらえるとうれしくなるからです。また、自分が『ありがとう』と言った時に相手が笑顔になり、その笑顔を見た時に気持ちが明るくなるからです。

三つ目の『あ』は、『あったかく』です。『あったかく』とは、あったかい場所をつくることです。そのために、あったか言葉をみんなで使用することで、あったかい場所ができます。具体的には、『がんばれ』、『大丈夫』、『ナイス』といったあったか言葉があります。こんな言葉を言ってもらうと、気持ちが落ち着きます。だから、みんなにもあったか言葉を使ってほしいです。

ぼくが通っている鞍馬小学校では、この『三つのあ』を昨年度からみんな

で大切にしています。これまでも、学校全体の仲は良かったけれど、『三つのあ』を大切にするようになってから、もっと仲が良くなりました。それは、一人一人のあいさつの声が大きくなったり、ありがとうという言葉も増えたりしたからだと思います。

ぼくは今年度、この鞍馬小学校を卒業して、中学校に行きます。ぼくの通う中学校は、多くの小学校からたくさんの方が集まってきます。中学校に行っても『三つのあ』を大切に、友達をたくさんつくりたいです。また、周りの人たちにも、その良さを伝えて、多くの人の暮らしが明るくなってほしいです。そうしていくことで、社会全体も明るくなっていくと思います。